

携帯端末を利用したアクティブラーニング

都築 英明, 梅田 雅宏, 鳴瀬 善久, 廣瀬 英司, 河合 裕子, 村瀬 智一

医学教育研究センター

本学の e-ラーニング環境としては, LMS として学修支援システム (ActiveAcademy), 主として ICT 関連教育に用いている moodle, そして学生との連絡を主な用途としている Gmail 及び GoogleSites などの GoogleApps がある. アクティブラーニングについては既に課題解決型学習, 体験学習, 調査学習, グループディスカッション, ディベート, グループワーク等が本学でも取り入れられている.

医療系の大学では記憶することが多いため, 学習を繰り返すことが大切であり, 自宅での予習, 復習, 小テストといった作業が必要である. このような学習支援には GoogleApps の機能が有効であることがわかった. 予習, 復習には GoogleSites を利用し, 小テストには GoogleForms が便利であった. 特に GoogleForms は授業における理解度の判定にリアルタイムに対応可能であった.

平成 28 年度 入学前教育の取り組み

都築 英明, 梅田 雅宏, 鳴瀬 善久, 廣瀬 英司, 河合 裕子, 村瀬 智一

医学教育研究センター

本学では入学前教育に平成 25 年度から取り組んでおり, 平成 27 年度からは入学前にキャンパスでの学習会を開催している. 平成 28 年度はこれまでの経験を生かして生物系の科目を中心とし, 学習習慣を維持させることに主眼を置き, キャンパスでの学習会のほか, GoogleSites と GoogleForms による専用ホームページを開設した. ホームページには小テストなどの学習課題のほか事務的な連絡事項も掲載した. これにより入学生それぞれの学習状況をリアルタイムに把握することができ, 必要に応じて家庭や出身校を通じて学習支援を依頼することにより, 学習意欲の維持につなげることができた.

入学前教育で得られたデータは初年次教育につなげることで, ドロップアウトの防止や教育プログラムの編成に有効活用されることが期待される.